

介護サービスについて

～居宅サービスと看護小規模サービスの違い～

SOMPOケア株式会社
SOMPOケア 函館昭和 居宅介護支援 加藤 由美

①ストーリー(共通)

ご本人の状態

現在A病院に入院中（血糖コントロール）、退院に向けて食事制限、運動、血糖コントロールを行い、インスリン開始3回/日にインスリン注射を 退院時インスリンを1回/日に調整できた。本人の強い希望もあり、退院することになる。

85歳女性 要介護2

既往歴 糖尿病 変形膝関節症 認知症（アルツハイマー病）

高齢世帯 夫（要支援2 87歳 弱視で細かい作業は不可）、長女（北斗市）、長男（札幌市）

自分でインスリンはできそうだが、認知症状もあり忘れることがある。夫も高齢の為、介護できず自分の身の回りのことをするのが精いっぱいである。

本人のADLは自立しているが変形性膝関節症により掃除、洗濯は娘さんや夫の協力もありできる。

インスリンも見守り、声かえで自分で行える。薬に関しては、1日1回ではあるが、飲み忘れもある為、声かけや服薬確認が必要な状態である。

退院支援NSにて訪問介護か看護小規模多機能を利用し在宅での生活を送る案を提案された、本人、夫、長女も協力し自宅で介護を行うことになる。

サービス導入時(要介護2)

居宅サービス
(訪問介護中心)

自己負担は約10000円(1割)

(看護)小規模多
機能型居宅介護

自己負担は約19000円(1割)

月	火	水	木	金	土	日
12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00長女 訪問 (買い物、イ ンスリン) 入浴
	訪問看護					
17:00 配食サービス	17:00 配食サービス	17:00 配食サービス	17:00 配食サービス	17:00 配食サービス	17:00 配食サービス	17:00 配食サービス

娘さんは日曜日に入浴や買い物、インスリンの見守り可能
月～土曜日は訪問介護、訪問看護を利用し在宅で生活を開始

状態変化後(要介護4)

居宅サービス
(訪問介護中心)

自己負担は約28000円 (1割)

(看護) 小規模多
機能型居宅介護

自己負担は約30000円 (1割)

月	火	水	木	金	土	日
8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)	8:00 訪問介護 (訪問)
10:00- 15:30 デイサービス	12:00 訪問介護 (訪問)	10:00- 15:30 デイサービス	12:00 訪問介護 (訪問)	10:00- 15:30 デイサービス	12:00 訪問介護 (訪問)	12:00 長女
	訪問看護					
17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 訪問介護 (訪問)	17:00 長女
17:00 配食サービ	17:00 配食サービ	17:00 配食サービ	17:00 配食サービ	17:00 配食サービ	17:00 配食サービ	

認知症の進行により要介護4の認定結果となる。

娘さんは日曜日に買い物、インスリンの見守りを引き続き行ってくれるが、インスリンも1日3回に増えた。

- ・週3回デイサービス(通い)を利用し、入浴、運動、インスリン、服薬等の支援を開始
 - ・訪問介護(訪問)で週16回 食事準備やインスリン、服薬確認を開始
- 食事がとれず、低血糖を起こすこともあり、食事の管理も重要となってきた。
今後、夫や長女の介護疲れもありショートステイ(泊り)の利用も視野に!

比較

	居宅サービス	(看護) 小規模多機能
費用	<ul style="list-style-type: none"> ・利用回数に応じ利用料が変更になる (サービスが少ないときは安価、サービスが多いと限度額を超えることも・・・) 	<ul style="list-style-type: none"> ・包括報酬であり定額制 (要介護度によって料金に相違あり) (サービスが少ないときは高価、サービスが多くても限度額を超えることはない)
柔軟さ	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス変更等には、一定の手続きが必要である 原則、決まった時間、決まったサービス内容のみの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・柔軟にサービスを組み合わせることができる 例 通いは「午前中だけ」「午後だけ」など短時間の利用も可能 泊りは、突然の体調不良等においても空きがあれば可能 訪問 (看護サービス含む) は、状態に合わせ臨機応変な変更が可能 (オンコール対応可)
手続き	<ul style="list-style-type: none"> ・通所、訪問、泊まりの全てのサービスをその事業所の特徴を理解し好きな事業所を別々に選択することができる (手続きが多い) ・すでに担当CMがいる場合は、継続できる (選べる) ・様々事業所を選ぶことができる (CMの変更も可能) ・それまで利用できた介護保険サービス「居宅介護支援」「訪問介護」「デイケア」「デイサービス」「ショートステイ」を継続できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所、訪問、泊まりの全てのサービスを一つの事業所との契約で受けることができる (手続きが少ない) ・すでに担当CMがいる場合は、所属のCM変更が必要 (選べない) ・事業所の変更手段は契約終了 (不満があった場合等) ・それまで利用できた介護保険サービス「居宅介護支援」「訪問介護」「デイケア」「デイサービス」「ショートステイ」を併用できなくなる
なじみ	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス種別ごとに事業所が違うことから、それぞれ慣れる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・登録制 (少人数) のため一人一人に寄り添ったサービスが可能 (全サービスを同一事業所で受けられるため、違うサービスであっても顔なじみのスタッフが行うこともあり利用者が安心できる)
透明性 (気づき)	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の事業所が関与するため、観察の視点が多く透明性がある ・複数の事業所が関与するため、CMを中心とした連携となる (情報共有にタイムロスが生じやすい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの事業所で完結するため、観察の視点が偏るリスクがある ・一つの事業所で完結するため、連携がとりやすい (情報共有にタイムロスが少ない)

居宅サービス

看護小規模多機能

費用

透明性
(気づき)

柔軟さ

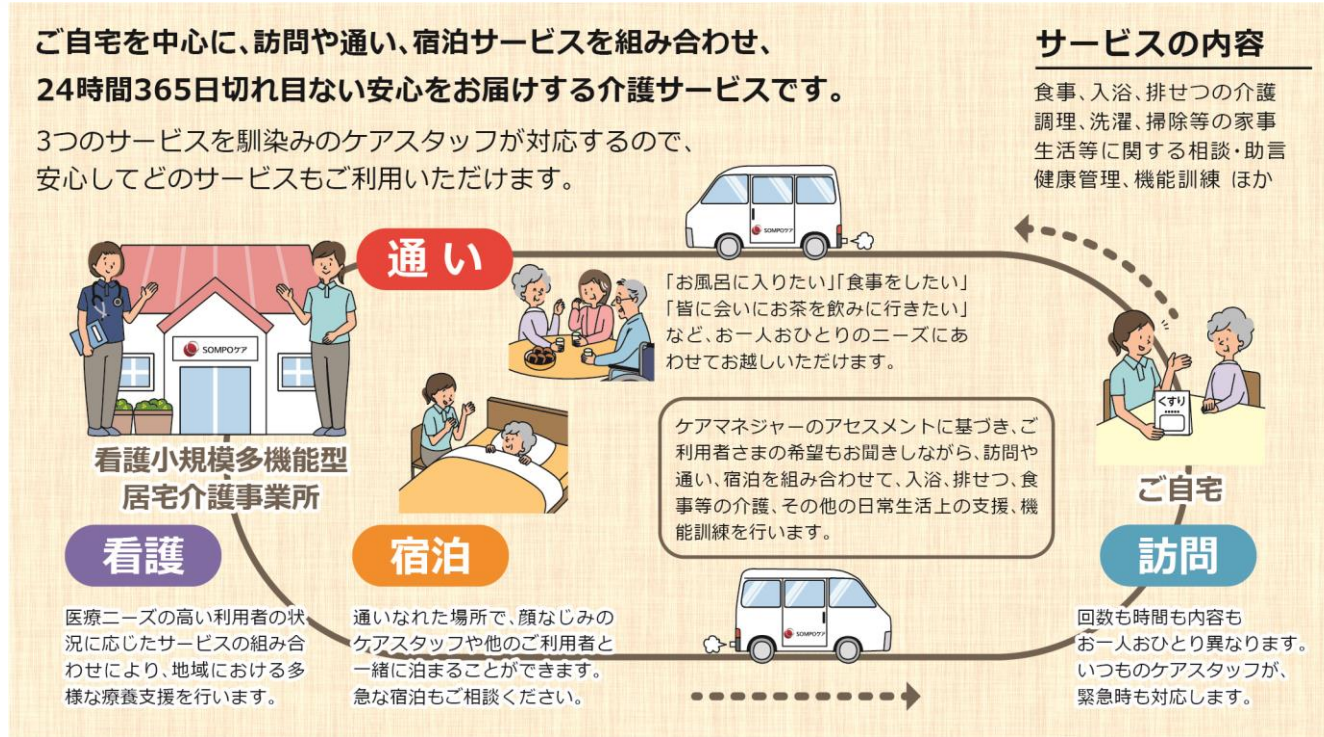
なじみ

手続き

意思確認が大事！

看護小規模多機能

介護を受ける場所を自由に選べるサービスです。



在宅サービスとの違い

在宅サービスをそれぞれ利用した場合

通所介護（デイサービス）

- ・利用時間は事業所の指定時間で
- 例) 朝の10時ちょうどにお迎えに来て、夕方の16時ちょうどにご自宅へお見送り。

短期入所（ショートステイ）

- ・事前に利用予約が必要（緊急な対応は難しい）

訪問介護

- ・20分、45分単位など、サービスの枠に合わせた利用時間

訪問看護

- ・他のサービスと合わせた限度額内での利用。

看護小規模多機能ではお一人おひとりに合わせた柔軟なサービスをご提供します

看護小規模多機能の「通い」サービス

- ・時間も曜日もお一人おひとりに合わせて
- 例) ご都合のよい時間にお迎えに行き、ご都合のよい時間にご自宅へお見送り。

看護小規模多機能の「宿泊」サービス

- ・急に宿泊したい時にも対応
- 例) 通いサービス利用の後、急遽、宿泊して翌日お帰りいただくこともできます。

看護小規模多機能の「訪問」サービス

- ・回数も、時間もお一人おひとりに合わせて対応
- 例) 服薬確認のために、10分だけ訪問サービスを使いたい等。

看護小規模多機能の「看護」サービス

- ・必要な回数、時間を提供できます。
- 例) 医療行為など事前に決められた定期訪問と緊急時の対応。

定期巡回・随時対応訪問介護看護

サービスの特徴

●ヘルパーの定期訪問

1日1回から複数回、お一人おひとりの状況に合わせて、24時間体制でヘルパーが訪問し、オムツ交換、服薬介助などを行います。

●看護ニーズにも対応

- ・必要に応じて看護スタッフが決まった日時に訪問し、床ずれの処置、点滴の管理などを行います。
- ・訪問看護の利用がなくても、定期的に看護スタッフが訪問し、看護の視点からご本人・ご家族の状況をお伺いします。



●つながる安心

不安になったら、ケアコール機のボタン1つで専門スタッフへいつでも相談できます(24時間365日対応)。



●困った時・いざという時も安心

「転んで起き上がれない」「気分が悪くなった」など急な事態にもケアコール機のボタン1つでヘルパーが訪問します。必要に応じて、看護スタッフ、主治医へ指示を仰ぎます。



サービス利用の効果(一例)

- 1日複数回ヘルパーが来て水分を飲むように促してくれるため、脱水が予防できた。
- 以前は一人で過ごす時間に不安が強く、1日に何度も事業所に連絡をしていた。今は定期的に何回かヘルパーが訪問してくれ、「何かあったらいつでも来てもらえる」と思えるようになり、安心感も大きい。連絡の回数が減った。
- いざという時にペンダントを押したらいつでももらえるその安心感で、妻の疲労がやわらぎ、笑顔が見られるようになった。
- トイレに行くペースがつかめなくて失敗してしまうことがあったが、排泄のタイミングに合わせてヘルパーの訪問時間を調整してもらい、トイレに行ける回数が増えた。

※当社での事例をもとにしていますが、全ての方に当てはまるわけではありません。

訪問看護

看護スタッフがご自宅を訪問し、主治医と連携をとりながら、服薬管理、床ずれ(褥瘡)の処置、カテーテルの管理など、看護サービスやアドバイスを提供し、ご自宅での療養生活をお手伝いします。



サービスの特徴

●安心の「医師との連携」

主治医の指示に基づいて看護サービスを提供します。主治医への報告や連絡も密に行います。

●医療的な視点からの介護

訪問看護では、専門的な視点で、健康状態を観察します。

療養上のお世話
インスリンの注射・床ずれの処置
服薬管理・カテーテル管理など

看護・介護ケアの実施・相談・家族指導
排泄・入浴・体位変換など

ターミナル（終末期）ケア
苦痛の緩和・ご家族の相談・支援

認知症のケア

◆コロナ禍で訪問看護のニーズが高まっています↓

- ▶ 看護師が自宅訪問して状態観察
→主治医報告するため、通院頻度を減らすことが可能。
- ▶ 自宅で点滴や注射が行えるため、定期的な点滴などの通院を減らすことが可能。
- ▶ 内服管理を行うことで病状安定をはかれた場合、通院頻度を減らすことが可能。
- ▶ 面会制限されている病棟が多いため、入院したくない・させたくない場合にも、最期まで在宅で過ごす、又は長期入院を避けることができる。
- ▶ 通院頻度を減らせることで、移動や待合室・調剤薬局の長時間滞在に伴う感染リスクを減らすことが期待できる。

サービス利用の効果（一例）

- 薬の管理とご家族へのアドバイスや医師と薬の調整をしたため症状が安定した。
- 終末期に、医師との連携、苦痛の緩和、本人や家族の精神的な支援はもちろん、緊急時の対応も行ったため、自宅での看取りができた。
- 医療的な目線で全身を観察してくれるので、病状の変化を直ぐに察知し、病気の早期発見ができた。

訪問介護

ホームヘルパーがご自宅を訪問し、生活のさまざまなシーンで介護サービスを提供します。ご本人が、住みなれたご自宅での生活がおくれるようお手伝いします。

身体介護



食事介助
排泄介助

外出介助
体位変換
清拭・入浴
起床・就寝介助
服薬介助
身体整容

※ご本人の心身の状態や生活状況によっては、介護保険サービスでは対応できないサービスがあります。



“**毎日**”の稼働枠が**提供可能**です！

特に**身体援助（排泄・入浴・清拭）**

において、様々なご案件にも迅速にお応えいたします。

祝日・年末年始・GW・お盆など、通年通してご利用者の生活を支える事業所として、皆さまのお役に立てればと思います。

ご連絡お待ちしております！！

生活援助



調理
洗濯

買い物
衣類の整理
薬の受け取り
配下膳
掃除・ごみ出し
ベッドメイク

サービス利用の効果(一例)

- 足元がおぼつかないため、自宅のお風呂に入るのは不安だったが、浴室・浴槽の出入りを介助してもらえるので、安心して入ることができている。
- トイレは夫が毎回付き添って来ていたが、ヘルパーに手伝ってもらうことで、夫の疲労がやわらいだ。
- デイサービスに行く日にヘルパーが来て準備を手伝ってくれる。自分一人だと日付を間違えてしまうが、ヘルパーのおかげで休むことなく通えて、自信に繋がっている。

※当社での事例をもとにしてはいますが、全ての方に当てはまるわけではありません。

デイサービス

サービスの流れ（例）



デイサービスとは..

ご自宅での暮らしを続けられるよう、
（日常）生活機能の維持・向上、社会との
つながりを支援します。

また、ご家族の身体的・精神的な負担の
軽減を図り、皆様の笑顔を支えます。

SOMPOケアは、 認知症の方と共に歩みます。

認知症になっても安心して暮らせるよう、
地域とかかわるデイサービスです。



趣味活動や交流、機能訓練、入浴などができる日帰り介護サービスです。
送迎サービス、看護スタッフによる健康チェックのほか、
その日その場で調理した温かいお食事も提供いたします。
車椅子ご利用の方、身の回りのお世話が必要な方、
認知症の方も安心してご利用いただけます。

居宅介護支援

介護保険サービスを利用する場合は、ケアプラン(居宅サービス計画)が必要です。ケアマネジャー(介護支援専門員)が、ご本人やご家族と相談しながら、心身の状態やご希望に合わせて、サービスの種類や内容、回数、時間を決めるお手伝いをします。

サービスの特徴

● 難しい介護保険を丁寧に説明します

介護保険制度を分かりやすく説明し、有効に利用できるように支援します。

● 複雑なサービス事業所間との調整をします

サービス事業所への連絡や調整、打ち合わせを行います。

● 定期的に訪問し状況をお伺いします

定期的に(月に1回程度)ご自宅に訪問し、サービスの利用状況や、日々のお困りごとについてお話をうかがいます。



● ご利用者さまの負担金はありません



ご利用者さまの声(ご利用者アンケートから抜粋)



ご本人

近所であることが一番で、希望のパンフレットや説明書類の対応も早く、いつも信頼しております。



ご家族

色々なサービスをこちらが相談する前に紹介してくれて、すぐに対応してくれているので今の現状で満足しています。

サービス利用の効果(一例)

- 「介護が必要」となった時に、何から始めたら良いか分からず不安だったが、介護保険の申請から全てお任せできて将来の不安が少し解消できた。
- 急に退院となり、自宅に戻ることに。身体も不自由になったのでどう生活していけるのか分からなかったが、ホームヘルパーなどのサービスや介護ベッドなどの手配・調整をしてもらったので、無事に自宅での生活をスタートできた。
- 「住みなれた自宅で最期を迎えたい」という本人の強い希望通り、様々な提案や情報提供で満足のいく最期を妻に迎えさせてあげることができた。何より、不安な気持ちを分かちあってもらえたことが助かった。

※当社での事例をもとにしていますが、全ての方に当てはまるわけではありません。

訪問入浴

サービスの特徴

● チームで訪問

看護スタッフを含む3人の入浴チームが専用の浴槽を装備した訪問入浴車で訪問しますので、寝たきりなどでご自分では移動ができない方にも、安全・安楽にご入浴いただけます。

● 看護スタッフによる体調チェック

看護スタッフが入浴の前後に体温や血圧などを測りますので、安心してご入浴いただけます。

● 病気・病状は問いません

- ・感染症(肝炎、MRSA、疥癬)の方
- ・医療依存度の高い方(胃ろう、ストーマ、気管切開、呼吸器装着など)

● ご自宅の場所・回数は問いません

2畳分のスペースがあればサービスを提供できます。高層階にお住まいの場合や、年末年始などの「1回だけ利用」をご希望の場合でも対応します。



ご利用者さまの声 (ご利用者アンケートから抜粋)



ご家族

入浴によって身体の隅々まで見ていただき、お薬をつけていただいたり、ありがたいです。ベッドメイキングは助かります。

サービスの流れ

1 入浴車到着



2 浴前体調チェック



3 準備



4 ご入浴



5 浴後体調チェック



6 片付け(退室)



サービス利用の効果(一例)

- 入浴した後、夜ぐっすり眠れるようになった。
- 普段はベッドに寝たきりだが、入浴チームは3人で訪問するため、介助してもらいながら浴槽まで少し歩行している。
- 入浴の効果で血行が良くなり、皮膚の清潔が保て、床ずれが改善した。

※当社での事例をもとにしていますが、全ての方に当てはまるわけではありません。

サービスの特徴

●お一人おひとりに合わせたプラン

24時間の生活状況を把握し、ご自宅で生活するために必要な介護サービス等について細かく検討します。

お一人おひとりの心身の状態やライフスタイルに即した、サービスプランを作成し、提案いたします。医師・看護スタッフ・理学療法士・介護福祉士等がチームを組んでさまざまな角度からサポートします。

●ご家族の介護負担も軽減

休息やご自分の時間をもつことができ、ご家族の介護負担が軽減します。



ご利用者さまの声 (ご利用者アンケートから抜粋)



ご家族

利用中は睡眠が取れるので助かります。
気分が楽になりました。

サービスのイメージ

午後

チェック
イン

ご家族と来所 または
事業所からお迎え



おやつ
タイム



夕 食



入 浴



就 寝



朝 食



午前

チェック
アウト

ご家族がお迎え または
事業所からお送り



お一人おひとりのサービスプランによって、生活機能維持・向上のための訓練(リハビリ体操等)、レクリエーション(カラオケ)、趣味活動(貼り絵、折り紙等)を行っていただきます。





SOMPOケア

介護の未来を変えていく